

# 地域保健

# 11

2020

●特集

## コロナで進化・加速する オンライン&デジタル保健



# 地域保健 & オンライン市役所 コラボイベント

## オンライン市役所に 「保健師とつながろう課」ができました!

### 発足記念 オンライン交流会

- 日時……………2020年11月29日(日) 14時~16時
- 参加費……………無料
- 参加資格……………保健師活動にご興味のある方ならどなたでも(公務員以外でも参加可)
- 定員……………50名(先着順)

- お申し込みについて、詳しくは下記ご参照ください



<https://www.chiikihoken.net/event/2020/10/19/8218>

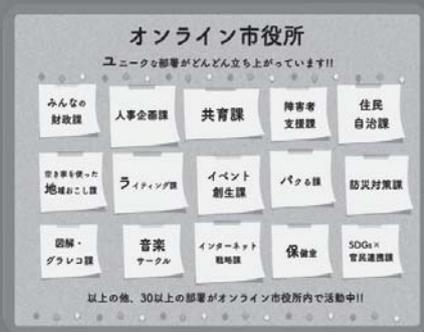
※お申し込みの方に後日 Zoom アドレスを送ります。



### オンライン市役所とは

オンライン市役所とは、地域や職場を超えて他の自治体の方と同じ悩みや不安を共有、相談したり、積み重ねてきた貴重なノウハウを共有、引き継ぐことができるオンラインプラットフォームです。

「国家公務員・地方公務員」問わず、現役の公務員であれば、どなたでも参加可能です。



<https://online-shiyakusho.jp>

地域保健 11月号の特集では、オンライン市役所に入庁した行政保健師さんたちに実際の活動の様子を座談会(P.8)で語っていただきました!

座談会では語り切れなかった熱い気持ちや、この座談会がきっかけで生まれた「保健師とつながろう課」のその後について、誌面の枠を飛び出しオンラインで全国の保健師さんにつながるイベントを企画しました。人と地域を動かすにはまず自分から!

皆さまのご参加をお待ちしています。



11月号をお手元にご用意の上  
ご参加いただくと  
より楽しめます

### お申し込み・お問い合わせ先

(株) 東京法規出版 地域保健編集部

TEL:03-5977-0353 / FAX:03-5977-0385

E-mail:chiikihoken@tkhs.co.jp

地域保健公式 WEB: <https://www.chiikihoken.net/>

Facebook ページ: <https://www.facebook.com/chiikihoken>

イベントに関する最新のお知らせは地域保健WEBやFBページをご覧ください



イラストレーター・スズキトモコ  
秋の山はまるで自然のキャンパス。日に日に色を変えていく山の美しさに息をのむ、そんな秋です。  
<http://www.tomo-com.com>

### 6 【特集】

# コロナで進化・加速する オンライン&デジタル保健

## 8 【座談会】 オンライン市役所のつながりを保健師活動に生かす

- ◎出席者 (五十音順)
- ◎黒濱 綾子さん (鳴門市健康福祉部長寿介護課、保健師)
- ◎島川 智香さん (草津市子ども未来部子育て相談センター、保健師)
- ◎永岡加寿子さん (富田林市健康推進部高齢介護課、保健師)
- ◎納 翔一郎さん (富田林市市長公室都市魅力課) =司会
- ◎脇 雅昭さん (神奈川県政策局未来創生担当部)

## 18 介護予防を目的としたスマートフォンアプリケーション オンライン通いの場アプリ 島田裕之 (国立長寿医療研究センター)

## 22 LINE アプリで DV・妊娠 SOS・性暴力相談 取材先: 西崎水泉さん (三重県子ども・福祉部)

## 26 母子手帳アプリ「おぶいく」の活用 取材先: 稲垣あや菜さん (大府市健康文化部)

## 30 緊急事態宣言下に立ち上げた 24 時間相談 オンラインまちの赤ちゃん保健室 榊原久子 (新渡戸文化短期大学)

## 36 AI「KIBIT®」を用いた児童虐待早期発見に向けた取り組み 山本麻里 (株式会社 FRONTEO)

## 40 「オンライン資格確認」で医療・保健が変わる 取材先: 山下 護さん (厚生労働省保険局医療介護連携政策課)

## 46 医療的ケア児等医療情報共有システム (MEIS) について 取材先: 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課

## 50 乳幼児健診情報について 中板育美 (武蔵野大学看護学部)

### 2 ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ! ▶ 山下 遼さん (磐田市健康福祉部健康増進課)

### 54 活動報告 ▶ NPO 法人みかんぐみとの協働提案事業 重症心身障害児・医療的ケア児 (未就学児) のピア相談 神保宏子 (杉並区高井戸保健センター)

### 74 ピープル ▶ 松岡典子さん (NPO 法人MCサポートセンターみっくみえ代表)

### 78 ニュース

### 88 情報BOX

### 94 総合目録

### 96 次号予告/奥付

### 連載

### 58 高齢者の「通いの場」づくりの取り組みとその効果 《第4回 最終回》/ 細川陸也ほか

### 66 ゲーム障害とスマホ依存—地域保健にできること 《第4回》/ 磯村毅

### 68 虐待予防は母子保健から《第10回》/ 鷲山拓男

### 72 ESSAY 国際保健《第40回》/ 松田正己

### 80 保健師のための閑話ケア《第91回》/ 藤本裕明

### 84 中臣さんの環境衛生ウオッチング《第76回》/ 中臣昌広

# 山下 遼 さん

やました・りょう

● 磐田市健康福祉部健康増進課

多様な価値観を持つ海外の方たちへの対応にも  
自分の経験を生かしていきたい



職場から歩いてすぐの場所にある遠江国分寺史跡公園にて。大木がしっかりと根を張り、太い枝葉を伸ばしていくように、山下さんの多彩な経験が現在に生きている



静岡県磐田市には、「パリスタ保健師」と呼ばれる男性保健師がいる。磐田市役所に入庁して4年目となる山下遼さんは、磐田市では3人目の男性保健師だ。

写真撮影日、マイポットを持参してさつそうと現れ、接客で身についた美しい姿勢ととびきりの笑顔を披露してくれた。

「パリスタ保健師」の秘密は、その異色の経歴にあるようだが――。

人とは違うこと  
自分ができそうにないことを

「高校2年生で進路を考えたとき、興味があり、かつ、自分のためにも人のためにもなる仕事を選ぼうと思いました。浮かんだのはジャンルの異なる4つの職業、アパレ

新型コロナウイルス感染症の拡大は社会の在り方を大きく変えようとしている。ソーシャルディスタンスを保つため、多くの分野でオンライン化、デジタル化が推進されつつある。今月号では、地域保健分野においてオンライン化、デジタル化を進めている潮流を特集する。

# コロナで 進化・加速する オンライン& デジタル保健

**P 8** 【座談会】  
オンライン市役所のつながりを保健師活動に生かす

- (出席者) ※五十音順
- ◎黒濱 綾子さん (鳴門市健康福祉部長寿介護課、保健師)
  - ◎島川 智香さん (草津市子ども未来部子育て相談センター、保健師)
  - ◎永岡加寿子さん (富田林市健康推進部高齢介護課、保健師)
  - ◎納 翔一郎さん (富田林市市長公室都市魅力課) =司会
  - ◎脇 雅昭さん (神奈川県政策局未来創生担当部)

**P18** 介護予防を目的としたスマートフォンアプリケーション  
オンライン通いの場アプリ  
◎島田裕之 (国立長寿医療研究センター)

**P22** LINE アプリでDV・妊娠SOS・性暴力相談  
◎取材先: 西崎水泉さん (三重県子ども・福祉部)

**P26** 母子手帳アプリ「おぶいく」の活用  
◎取材先: 稲垣あや菜さん (大府市健康文化部)

**P30** 緊急事態宣言下に立ち上げた24時間相談  
オンラインまちの赤ちゃん保健室  
◎榊原久子 (新渡戸文化短期大学)

**P36** AI「KIBIT®」を用いた児童虐待早期発見に向けた取り組み  
◎山本麻里 (株式会社FRONTEO)

**P40** 「オンライン資格確認」で医療・保健が変わる  
◎取材先: 山下 護さん (厚生労働省保険局医療介護連携政策課)

**P46** 医療的ケア児等医療情報共有システム(MEIS)について  
◎取材先: 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課

**P50** 乳幼児健診情報システムについて  
◎中板育美 (武蔵野大学看護学部)



# 松岡典子

さん

●NPO法人MCサポートセンターみつくみえ代表

## 一人一人のお母さんからの相談が、 ほかの多くのお母さんを救う鍵に

松岡典子さんが、三重県桑名市でNPO法人MCサポートセンター「みつくみえ」を立ち上げたのは、平成12年のこと。以来、代表として20年にわたり、地域のお母さんや子どもものあらゆる相談に乗り、笑顔になるための支援活動を続けてきた。その松岡さんに、これまでの活動内容や、昨今のコロナ禍での状況の変化、支援活動への思いなどを伺った。

●取材・文……………白井美樹（ライター）

MCサポートセンター  
「みつくみえ」を有資格のママ  
友とともに

助産師として総合病院に勤務した後、看護学校で講師も勤めた松岡さん。「みつくみえ」を立ち上げるに当たっては、どのような経緯があったのだろうか。

「かつての私は、助産婦の役割のほとんどが、『無事に出産させて退院させる』ことだと思っていました。ところが、いざ自分

が妊娠・出産を経験してみると、退院した後、すごく孤独で不安になることが分かったのです。そこで、私自身の子育てがひと段落したところに、自分の資格を生かして地域のお母さんたちの役に立つ活動をしたいと思うようになりました」

最初は、一人で電話相談からスタートした。すると、まもなく、運命的な出会いが訪れた。共通の思いを抱いていた地元の心理カウンセラーの女性が、松岡さんの活動を聞き、連絡をくれたのだ。そして、「お

母さんたちをしつかりバックアップできる体制をつくろう」という彼女の勧めもあり、NPO法人化へ動き出したのだという。

「もともと、組織づくりに当たっては、多職種の人たちが必要だと考えていました。お母さんを支えるには、栄養の話や病気の話なども出てくるはずだからです。

幸いなことに、周りを眺めると、ママ友の中には、管理栄養士、看護師、保育士などの有資格者がたくさんいました。そういうママ友たちを誘い入れて、NPO法人M

# バックナンバー紹介

2019年7月号

特集「災害時に配慮を要する在宅療養者への支援  
—難病等で医療的ケアが必要な人を中心に—

地震や豪雨などの自然災害が頻発している。災害時に医療的ケアが必要な人に保健師がどのような支援をすればよいかをまとめた。

2019年9月号

特集「性暴力被害者支援 —現状と課題—

これまであまり深く語られることがなかった性暴力の被害者支援について、トラウマケア、感染症や妊娠・出産、児童虐待、DVなど、保健師が深く関わる部分を中心に取り上げる。

2019年11月号

特集「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けて」

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の全体像とともに、通いの場、国保データベース、フレイルの概念などのトピックを解説。自治体や後期高齢者医療広域連合の好事例も紹介する。座談会では一体的実施における保健師の役割を中心に考える。

2020年1月号

新春座談会「保健師の業務を効果的・効率的に進める  
—統括保健師は何をすべきか—

保健師の業務を効果的・効率的に進めるために、行政経営の視点などを参考に、統括保健師の果たすべき役割を考える。

特集「子どもの自殺を防ぐ—10代を中心に—

全体の自殺者数が減る中で10代は横ばいもしくは増えている。その実態と対策。

お申し込みは

(株)東京法規出版 地域保健編集部  
FAX: 03-5977-0385

※バックナンバーの価格

(2016年3月号まで) 857円+税+送料154円

2020年3月号

特集「認知症施策推進大綱で保健師の地域活動はどう変わる?」

共生と予防を車の両輪とする「認知症施策推進大綱」。座談会や事例などを通して、大綱が保健師の役割にどんな影響があるのか読み解いていく。

特別座談会「厚生労働省での学びを地域に  
—気づき、抱負、今後のビジョン—

全国の自治体から出向や研修派遣で厚生労働省に来ている保健師たちが集い、仕事のやりがいや新しく学んだことなどを自由に語り合う。

2020年5月号

特集「健康経営を地域と企業のコラボレーションで」

健康経営とは従業員の健康管理を経営的な視点から戦略的に実践すること。健康経営の本質を考え、地域・職域連携による健康経営の具体的な姿を探っていく。

2020年7月号

特集「どこからが体罰か

—体罰等によらない子育て推進における母子保健の役割—

「体罰等によらない子育て推進」ガイドラインの解説、逆境的小児期体験の心身への影響、虐待予防最前線として母子保健に期待される役割などをまとめる。

2020年9月号

特集「コロナ時代の災害支援」

近年多発する地震、豪雨などの自然災害時におけるコロナ対策のあり方についてまとめる。

座談会「コロナ時代の保健活動

—ウイルスと共存する社会の健康づくり—

ソーシャルディスタンスを保つなど、新しい生活様式を定着させる中で、住民の健康を守る保健師の活動を継続する方法などについて話し合う。

(2016年5月号から) 1,370円+税+送料154円

## 『地域保健』購読のご案内

- 年6回、隔月〔奇数月〕1日発行
- B5判、総100頁(本文96頁、表紙4頁)
- 価格 1冊あたり 1,370円+税、送料154円  
年間購読 《公費前納および個人》8,137円(税込、送料弊社負担)  
年間購読 《公費後納》9,042円(税込、送料弊社負担)  
※書店の方は下記にお問い合わせください。

お申し込み

電話 03-5977-0300 FAX 03-5977-0385 ウェブ <http://www.tkhs.co.jp>

## 特集1

## 健康危機管理能力を高める—新型コロナ対策を中心に

◎日本版CDCの必要性 岡部信彦（川崎市健康安全研究所）

◎新型インフルエンザ等対策特別措置法の問題点

齋藤智也（国立保健医療科学院健康危機管理研究部）

◎座談会「地域の健康危機管理能力を高める」

～保健師が望むこと、保健師にできること～

【出席者】中板育美さん（武蔵野大学）＝司会 / 内田勝彦さん（全国保健所長会） / 清田啓子さん（全国保健師長会） / 二宮博文さん（港区みなと保健所）

## 特集2

## コロナ禍とメンタルヘルス—コロナうつを中心に

◎コロナうつを防ぐ 影山隆之（大分県立看護科学大学）

◎コロナうつと支援者支援 大塚耕太郎（岩手医科大学医学部）

◎コロナ禍における地域の自殺対策 本橋 豊（いのち支える自殺対策推進センター）

◎長野モデルにみる産後うつ、コロナうつの予防

町田和世（長野市保健所）

◎香芝市保健センターの取り組み 高岡恵津子（香芝市保健センター）

ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ！ 竹下明里さん（佐世保市子ども未来部子ども保健課）

ピープル 門川良平さん（すなばコーポレーション株式会社 代表）

新連載 保健師に求められる LGBTs の知識と支援の在り方 日高庸晴（宝塚大学看護学部）

新連載 保健師のセルフケアに生かすバッチフラワー 八木知美（葉善〈HAZEN〉、保健師）

※変更になる場合がございますので、ご了承ください。

地域保健  
令和2年 11月号

令和2年11月1日発行／隔月（奇数月）1回1日発行  
発行人 菅 国典  
制作・発行 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-22  
株式会社 東京法規出版  
振替 00160-1-371595

【購読の申し込み】 TEL 03-5977-0300  
FAX 03-5977-0385  
ウェブ www.chiikihoken.net

【内容の問い合わせ】 TEL 03-5977-0353 E-mail chiikihoken@tkhs.co.jp

◎表紙・本文デザイン＝新海妙子  
◎印刷・製本＝（株）上野印刷所  
◎編集長＝須賀健次  
◎編集員＝松岡康子

本誌に掲載された著作物の  
複写・転載等の許諾権は、  
株式会社東京法規出版が保  
有しています。

# 第9回 日本公衆衛生看護学会学術集会

## 公衆衛生看護の責任と実践

～誰も取り残されない『社会的包摂』の実現をめざして～

### オンライン開催

参加登録 1月4日(月)まで

2020年12月25日(金)～2021年1月24日(日)

WEBサイトにて随時情報を公開いたします。http://japhn9.yupia.net/



学術集会会長

大木 幸子

(杏林大学保健学部看護学科)

学術集会副会長

河西 あかね

(東京都保健政策部/全国保健師長会)

### 「今だからこそ、 思考し続けたい」

地域からの排除、感染症対策と人権、  
家族の密室化による暴力の潜在化、  
コミュニティとの対話、  
物語とナラティブ、  
そして、保健師の  
専門性とは…

### 講演内容は オンデマンド配信です

開催期間中は一部の例外を除き、いつでも何度でも視聴可能

プログラム テーマ(予定)

ハンセン病対策の歴史から保健師の活動を照射する

私たちは思考し続けることができるか  
～ハンナ・アーレントから学ぶ～

水俣(MINAMATA)の歴史に学ぶ公衆衛生の役割と責任

私たちは思考し続けることができるか

貧困と孤立を越え地域に居場所を紡ぐために

療養者・家族中心の地域包括ケアシステムの構築\*

実践の中にうめこまれた公衆衛生看護技術をみなおす

公衆衛生看護の責任と技術を継承する  
～「宮本ふみ」が残した実践者へのメッセージ～

公衆衛生看護の責任と技術を継承する

～「宮本ふみ」が残した実践者へのメッセージ～

無関心層へのアプローチ～誰も取り残さない健康支援～

風水害発生の二次健康被害・災害関連死を予防するために

介護者支援による地域づくり活動と保健師への期待\*

DV被害者支援と児童虐待予防との連携

災害とリスクコミュニケーション

～福島第一原子力発電所の事故から10年を振り返る～

新型コロナウイルス感染症対策における保健師の役割

\* 助成：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

学術集会事務局

東京都三鷹市新川6-20-2 杏林大学 保健学部 看護学科  
Mail: japhn9@ks.kyorin-u.ac.jp

運営事務局

愛知県名古屋市熱田区池内町3-21 (株)ユピア内  
Mail: japhn9@yupia.net FAX: 050-3737-7331